

「石狩川上流川づくり懇談会とりまとめ手交式」



平成 17 年 5 月 11 日、旭川河川事務所において「石狩川上流川づくり懇談会とりまとめ」の手交式が行われ、石狩川上流川づくり懇談会の白井暢明（しらいのぶあき）座長から旭川河川事務所長に同とりまとめが手渡されました。

同とりまとめは、「治水・利水」「環境」「利用・親水」「住民参加」の 4 つの観点から石狩川上流域の川づくりのあり方がまとめられています。

また、それらを実現するために必要な多くの取り組みの中から特に河川空間の樹林帯を復元するための「河畔林の連続性」、動植物の生息・生育環境の保全復元を目指した「河川生物の保全」、河川空間の自然環境に多くの人に触れられるような「フットパスの整備」、美しい河川景観の維持を目指した「施設やサインのデザイン」という 4 つのテーマについて方向性が示されました。

旭川河川事務所では今後このとりまとめ内容を踏まえて、地域住民、学識経験者、関係団体と協働して豊かな川づくりが行われることを目指していきます。